

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム とよなか

目標達成計画

作成日：令和 4 年 1 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	7	グループホーム単独ではなく、現状を本部の方も共有し、介護の質を上げる為にも、また、職員の質を上げる為にも人材を満たし、対応しては如何でしょうか？	・限られた人員数でも、ご入居者が毎日をゆったり穏やかに暮らせるよう業務内容や人員配置等について工夫できる。 ・必要に応じて人材の補充が行える。	①法人全体の介護力向上検討委員会でグループホームの現状を報告するとともに、限られた人員の中で業務を円滑に遂行するために業務内容を仕分けする。 ②調理や清掃、洗濯などの家事部分を手伝ってもらえる介護補助の職員を時短勤務で雇い入れ、職員が入居者と関われる時間を増やす。 6ヶ月
2	12	法人本部が将来を見据えているので、看取りの研修の一貫として、運営にも役立つ様にしては如何でしょうか？	ご入居者一人ひとりが「その人らしい最期」を迎えることができるよう、「看取り介護」に向けて職員の知識と心構えを養うことができる。	①終末期に関する研修を法人の看護師長から受け、基礎知識や事例について学ぶ。 ②どのような終末期を過ごしたいか、過ごしてもらいたいかが入居者本人やご家族に「思い」や「意向」を聞き取り、確認する。 12ヶ月
3				ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。